あなたと県を結ぶ広報紙

wakayama prefecture news

和歌山 県民の友

No.830
平成19年
【2007】
10月号

県食育推進月間特集 P2

県食育推進月間がスタート！

～食べることは学ぶこと、考えよう皆と私の食の未来！～

P6 県職員（一般、警察、教育）の給与等の現状

P14 ふるさと再発見！
「太地町」散策

梶取崎から見た燈明崎

県食育推進月間がスタート！

～食べることは学ぶこと、考えよう皆と私の食の未来！～

「食育」とは？

例えば、

「一日三食をきちんと食べていますか？」

「栄養バランスに気をつけていますか？」

「食べ残していませんか？」

こうした「食」に関する基本的なことが、今あらためて問われています。

食育とは、食育基本法では、『生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもので、様々な経験を通じて、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること』とされています。

県では、食育を推進するために有識者による食育推進会議を設置し、「食育推進プラン」を作成しました。

県食育推進プランのめざすもの

県民みんなが学び、理解し、実践できる食育の推進

取組の視点

- 生涯を通した健康づくりのための食育
- 家庭、保育所・幼稚園・学校、地域が連携した食育
- 県の農林水産物と地域の食文化に根ざした食育
- 食の安全・安心に支えられた食育

県民みんなで取り組む食育の数値目標例（目標年：平成23年度）

朝食を欠食する県民の割合減少	小学生	8.9%	▶	0%
	20歳代男性	16.7%	▶	15%以下
学校給食における地場産物を使用する割合増加		32%	▶	40%
メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）を認知している県民の割合増加		53.7%	▶	80%以上
成人肥満者の減少	男性	27.2%	▶	15%以下
	女性	16.6%	▶	10%以下
成人1日あたりの野菜類の平均摂取量の増加		183g	▶	350g以上
1日あたりの果物類の平均摂取量の増加		180g	▶	200g

問　県庁農林水産総務課
☎073-441-2865

県食育推進プランの実現に向けて

学校における食育

学校における食育の中心的な役割を担うため、今年度から3名の「栄養教諭」が誕生しました。食に関する指導はもちろん、親子料理教室の開催や食物アレルギーについての調査研究など学校・家庭・地域が連携した取組を行っています。

食育の中核となる給食には、地場産物や学級菜園で子どもたち自身が育てた作物も取り入れています。こうした食材を通して生産者の苦労に触れ、みんなで味わうことで食への感謝の気持ちを育むことができます。

農業体験学習

学校において県特産物を栽培する機会を設け、栽培をする中で生産する喜びを知り、生産者に対する感謝の気持ち、さらには、地元を知り、郷土を愛する心を養ってもらうことを目的に実施しています。

「おやこ食育教室」の実施

「おやこで学ぼう、大切な食」をテーマに食生活改善推進員が、「家族と囲む食卓は、会話を楽しみながらバランスの良い食べ方や食事のマナーなど、適切な食習慣を身につける良い機会である」ということに着目し、子どもと保護者を対象に調理実習を含めた教室を開催しています。

問　保健所

「おさかなママさん」による魚食普及活動

県漁協女性部連合会では、調理学・衛生管理などの知識を持った各地域の部員を「おさかなママさん」として登録しています。「おさかなママさん」が、学校や公民館などで幅広い世代の方々を対象に、魚介類の調理方法や鮮度の見分け方を指導するなど魚食普及活動を実践しています。

問　県庁水産振興課

「地産地消」の推進

地域で生産されたものを地域で消費する「地産地消」を進める取組として、県内全域で農林水産物の直売所や朝市などが90カ所以上で実施されています。

また、それぞれの地域では、田植えや収穫などの農作業体験を通した生産者と消費者との交流活動、地元レストランや学校給食で地域の食材を使用するなどの取組が行われています。

私たちも食育に取り組んでいます！

（社）和歌山県栄養士会　会長　藤澤 祥子さん

県栄養士会は、これまで食育に携わり、近年の食生活の乱れなど様々な課題解決に向けて積極的に活動してきました。

今後は、県栄養士会も県食育推進プランの実現に協力し、食の相談や指導を行うケアステーションを活発化するなど、栄養士として今まで以上にいろいろな機会・場所で食育活動に取り組むとともに、他の団体の方々とも連携し、より多くの人が自らの「食育」に関心を持つきっかけづくりをしたいと考えています。

（社）和歌山県調理師会　会長　前田 洋三さん

県調理師会では、家庭での食に対する関心が希薄化する中、次代を担う子どもとその保護者を対象に、郷土料理の継承、地産地消の推進や県産品を使ったおにぎりやお弁当のコンテストなど様々な食育普及活動を実施してきました。

今後とも、旬の地場産品を使った伝統料理の紹介を通じて、食材と料理の繋（つな）がりや地域の食文化を継承する活動を、関係団体と連携しながら取り組んでいきたいと考えています。

「わかやま食育応援店」登録制度の開始

食育・健康づくりを応援してイメージアップ！

県では、県民の皆さんが、外食するときや※中食を利用する際に、カロリーや塩分の表示がされていたり、食事バランスガイドが活用されていたり、薄味のオーダーに応じてくれたりするお店を「わかやま食育応援店」として登録する取組を始めました。

あなたのお店（企業）も、県民の食育・健康づくりにご協力をお願いします。

※中食…弁当や惣菜などを、家庭に持ち帰って食べること。

取組内容の一例

栄養成分表示及び
食事バランスガイド活用店
ヘルシーメニュー提供店
ヘルシーオーダー提供店
禁煙・分煙協力店

対象店舗例

飲食店
スーパーマーケット
コンビニエンスストア
弁当・惣菜販売店

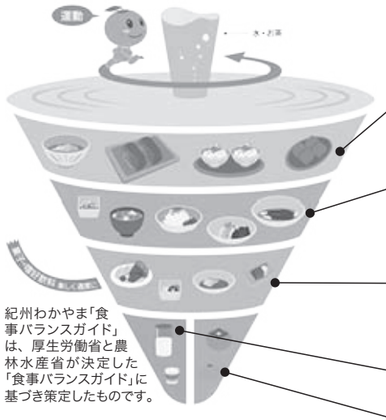
問　県庁健康づくり推進課

食の安全・安心公開講座
「冬場の食中毒対策ーノロウィルスについてー」

日時：11月19日(月)午後1時30分～3時30分
場所：紀南文化会館(田辺市)
定員：100人(先着順)
申込み・問合せ：11月9日までに県庁食品安全企画課
手話通訳あり。一時保育は事前申込必要。

～紀州わかやま～ 食事バランスガイド

あなたの食事は大丈夫？



紀州わかやま「食事バランスガイド」は、厚生労働省と農林水産省が決定した「食事バランスガイド」に基づき策定したものです。

1日分（成人一般の場合）	料理例
5~7つ(SV) 主食（ごはん、パン、麺）ごはん(中盛り)だったら4杯程度	1つ分＝ごはん小茶碗1杯＝食ぱん1枚＝柿の葉寿司2個＝茶がゆ1杯　1.5つ分＝ごはん中茶碗1杯 2つ分＝おにぎり2個＝うどん1杯＝めはりずし2個＝春きゃべつパスタ＝梅ごはん2杯
5~6つ(SV) 副菜（野菜、きのこ、いも、海藻料理）野菜料理5皿程度	1つ分＝野菜サラダ＝ほうれん草のお浸し＝ひじき煮＝酢の物（わかめとらす）＝和歌山野菜いっぱいみそ汁＝えんどうの玉子とじ ＝大根サラダ＝若竹煮＝揚げ茄子生姜じょうゆ　2つ分＝野菜炒め＝のっぺ
3~5つ(SV) 主菜（肉、魚、卵、大豆料理）肉・魚・卵・大豆料理から3皿程度	1つ分＝目玉焼き＝冷や奴＝高野煮物＝黒豆ごもく煮＝マグロの刺身 2つ分＝煮魚（タチウオ）＝かつおたたき　3つ分＝ハンバーグ＝クジラ竜田揚げ＝紀州鶏唐揚げ
2つ(SV) 牛乳・乳製品 牛乳だったら1本程度	1つ分＝牛乳ｺｯﾌﾟ半分＝ﾁｰｽﾞ＝ﾖｰｸﾞﾙﾄ1ﾊﾟｯｸ　2つ分＝牛乳1本分
2つ(SV) 果物 みかんだったら2個程度	1つ分＝みかん1個＝柿1個＝はっさく半分＝桃1個＝ｲﾁｺﾞ6個＝ｷｳｲﾌﾙｰﾂ1個

※SVとはサービング（食事の提供量の単位）の略

紀州わかやま「食事バランスガイド」は、「何を」「どれだけ」食べたらよいかを、コマを使ったイラストなどで示したものです。掲載している料理例や提供量を参考に、コマが倒れないよう栄養のバランスがとれた食生活と適度な運動を実践しましょう。

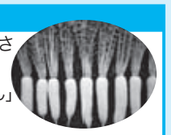
わかやま食育推進フェア　知ろう！伝えよう！和歌山の食
～レッツトライ！紀州わかやま「食事バランスガイド」～
日時：11月18日(日)　10:00～17:00　　問合せ：県庁果樹園芸課
場所：パームシティ　ジストホール(和歌山市)

わかやまの四季の食材と郷土料理の一例

旬の食材を使っていますか？
昔から伝わる郷土料理をいつ食べましたか？

和歌山県には、豊かな自然のもと、一年を通して四季折々の旬を味わえる食材がたくさんあります。また、これら新鮮な特産物を利用して、伝えられてきたその地域ならではの郷土料理もたくさんあります。こうしたことを再認識し、普段の「食」に取り入れることが、食育の推進につながります。

だいこん(旬 12～1月)
紀の川河口流域が中心で栽培され、青首だいこんが主流です。漬け物に向く「和歌山だいこん」も栽培されています。



もも(旬 6～8月)
紀の川市を中心にした紀の川流域は関西一の桃の産地です。

かき(旬 10～11月)
全国1位の生産量で、紀北を中心に栽培されています。

しらす
(旬 春3～5月　秋9～10月)
紀伊水道の名産で、かま揚げやちりめんに加工されます。

柿の葉寿司
伊都地域で秋祭りに食べられます。渋柿の葉にご飯や塩さばやえび等を包みます。

茶がゆ

ほうじ茶で米を炊いたお粥（かゆ）で、家庭では旬の豆やいも、餅等を入れて旬の味を楽しみます。
紀の川流域をはじめ県内全域で朝食等で食べられており、「おかいさん」と呼ばれて親しまれています。

はっさく(旬 2～3月)
全国1位の生産量。那賀地域、有田地域で多く作られています。

みかん(旬 10～12月)
全国1位の生産量。
有田地域のものは「有田みかん」として有名です。貯蔵した下津の「蔵出しみかん」は1～3月に出荷します。

まぐろ(旬 1～2月)
紀南海域で漁獲され、特に勝浦漁港は日本有数の生まぐろの水揚げ基地です。「県の魚」に指定されています。

なれずし
日高・有田地域の行事食で塩さば等をすし飯にのせ、あせの葉で巻いて桶（おけ）に詰め、重しをのせて5日ほどおくとなれます。（早なれは半日～1日）

うめ(旬 6月)
全国1位の生産量で、みなべ町、田辺市等の紀南を中心に栽培しています。
南高梅（なんこううめ）は梅干し、古城梅（こじろうめ）は梅酒、梅ジュースに最適です。

くじら

くじらは、ハリハリ鍋、ベーコン、尾の身の刺身などで食されてきました。特に太地町はくじらの町として有名です。

たちうお
(旬 6～8月)
有田地方で多く水揚げされ、漁獲量は、全国1位です。

えんどう類
(旬 3～5月)
日高地域を中心に栽培し、さやごと食べる「きぬさや」、実を食べる「うすいえんどう」があります。

めはりずし
熊野を代表する郷土食のひとつ。茎などをまぜたごはんを塩漬けしたたかなの葉で包みます。

いがみの煮付け
田辺地方の祭りや正月になくてはならない一品で、煮こごりとともに食べるとおいしいです。

さえら(さんま)ずし
紀南の代表的な魚ずし。一匹分そのままのせるものは姿寿司と呼ばれます。

県職員（一般、警察、教育）の給与等の現状

今、県では能力・実績主義の確立や職員数の削減など、いっそうの行財政改革に取り組んでいます。

問　県庁行政経営改革室、人事課

●給与構造の見直し及び能力・実績主義の確立

給与構造の見直しによる新給料表の適用により、年功的な給与上昇を抑制しています。
また、能力・実績主義の確立に向け、全職員を対象として、勤務実績に基づいた昇給(査定昇給)及び勤勉手当支給割合の増減を実施しています。
勤務実績を昇給幅や勤勉手当に反映させることにより、職員の勤務意欲のさらなる向上を図ります。

●職員数の削減

平成22年4月1日の県職員全体の総定員については、平成17年4月1日現在の総定員に対して、一般行政・公営企業等部門で1,400人、特別行政部門(教育、警察)で500人、あわせて1,900人程度(約11%)の削減を図っていくこととしています。

定員管理数値目標の年次別進捗状況

部門＼区分		17.4.1 計画始期	18.4.1 1年目	19.4.1 2年目	18年～19年計	(22年) 数値目標
一般行政及び公営企業等	職員数	5,250人	4,176人	4,088人	―	3,850人
	増減		▲1,074人	▲88人	▲1,162人 (83.0%)	▲1,400人
特別行政（教育・警察）	職員数	12,676人	12,387人	12,240人	―	12,176人
	増減		▲289人	▲147人	▲436人 (87.2%)	▲500人
合　計	職員数	17,926人	16,563人	16,328人	―	16,026人
	増減		▲1,363人	▲235人	▲1,598人 (84.1%)	▲1,900人

主な増減理由

・一般行政及び公営企業等部門

平成18年　指定管理者制度の活用、市町村行財政事務の集約、県立医科大学附属病院の独立行政法人化等による減等

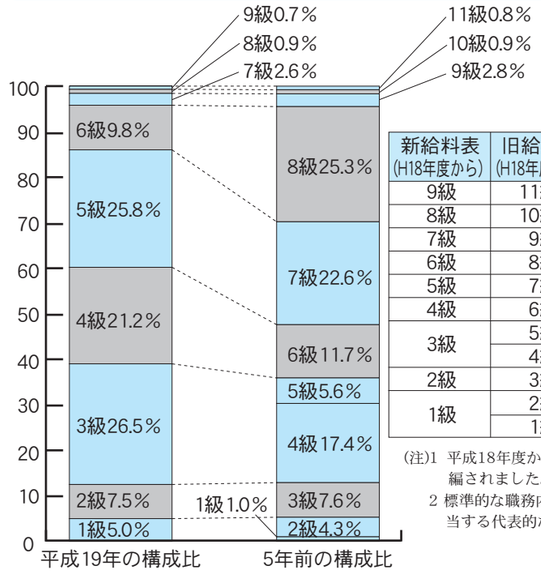
平成19年　総務事務等の民間委託推進、出納分室等の組織見直し、公立大学法人県立医科大学派遣の減等

・特別行政部門(教育・警察)

平成18・19年　児童生徒数減少に伴う教職員の減等

(注)1　計画期間は、平成17年～22年の5年間です。
2　(　%)内の数値は、数値目標に対する進捗率を示しています。
3　増減は、各年の欄にあっては対前年比の職員増減数を、計の欄にあっては計画1年目以降、現年までの職員増減数の累計を示しています。

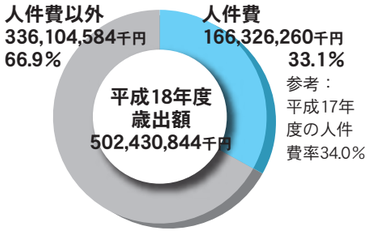
一般行政職の級別職員数の状況(平成19年4月1日現在)



新給料表 (H18年度から)	旧給料表 (H18年度まで)	標準的な職務内容
9級	11級	部長
8級	10級	局長
7級	9級	参事・課長
6級	8級	課長・副課長
5級	7級	課長補佐・班長・主任
4級	6級	主査
3級	5級	主査・副主査
	4級	
2級	3級	主事・技師
1級	2級	主事・技師
	1級	

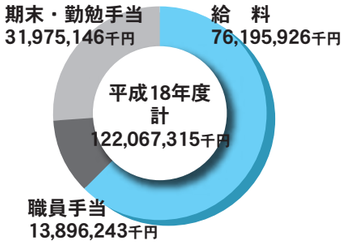
(注)1　平成18年度から給料表の級区分が統合・再編されました。
2　標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務を表しています。

人件費の状況(普通会計決算)



(注)人件費は、一般職の職員の給与、退職手当、共済費のほか、特別職の職員の給与及び報酬等の普通会計に属する部分について集計したものです。

職員給与費の状況(普通会計決算)



(注)1　職員手当とは、地域手当、時間外勤務手当などの諸手当を合計したものであり、退職手当を含みません。
2　給与費は、一般職の職員の普通会計に属する部分について集計したものです。

職員の初任給の状況(平成19年4月1日現在)

区　分		和歌山県	国
一般行政職	大学卒	175,032円	Ⅰ種179,200円 Ⅱ種170,200円
	高校卒	137,016円	138,400円
技能労務職	高校卒	132,660円	―
高等学校教育職	大学卒	195,426円	―
小・中学校教育職	大学卒	195,426円	―
警察職	大学卒	193,050円	200,800円
	高校卒	154,638円	156,200円

(注-A)平成19年度は、引き続き厳しい財政状況を踏まえ管理職の職員は給料の2%、管理職以外の職員は給料の1%をそれぞれ県独自に減額しています。

職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(平成19年4月1日現在)

区　分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	43.0歳	348,014円	416,693円
技能労務職	48.7歳	347,765円	388,331円
うち用務員	49.2歳	333,589円	361,182円
うち道路整備員	47.1歳	340,792円	402,420円
うち運転業務員	49.8歳	365,322円	421,014円
高等(特別支援・専修・各種)学校教育職	45.1歳	403,315円	459,206円
小・中学校(幼稚園)教育職	47.0歳	411,147円	465,324円
警察職	41.2歳	341,937円	461,555円

(注)1「平均給料月額」とは、平成19年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均です。
2「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などの諸手当の額を合計したものです。
(注-A)に同じ。
※平成18年4月1日現在の一般行政職の給料は、国家公務員の水準を100とした場合、98.8となっています。

職員の経験年数別、学歴別平均給料月額の状況(平成19年4月1日現在)

区　分		経験年数10年	経験年数20年
一般行政職	大学卒	264,485円	373,232円
	高校卒	217,800円	320,286円
技能労務職	高校卒	210,474円	302,942円
高等学校教育職	大学卒	310,351円	403,906円
小・中学校教育職	大学卒	307,278円	398,805円
警察職	大学卒	292,463円	387,499円
	高校卒	253,237円	338,217円

(注-A)に同じ。

特別職の報酬等の状況(平成19年4月1日現在)

区　分		給料月額等
給料	知事	1,137,400円　(1,210,000)円
	副知事	893,000円　(950,000)円
報酬	議長	893,000円　(950,000)円
	副議長	761,400円　(810,000)円
	議員	723,800円　(770,000)円
期末手当	知事 副知事	(18年度支給割合)　3.35月分
	議長 副議長 議員	(18年度支給割合)　3.35月分
退職手当		(算定方式)　(1期の手当額)　(支給時期)
	知事	121万円×在職月数×0.7　40,656,000　(任期毎)
	副知事	95万円×在職月数×0.5　22,800,000　(任期毎)

(注)1　厳しい財政状況を踏まえ、平成19年度は知事・副知事の給料、議長・副議長・議員の報酬をそれぞれ6%減額しています。また、給料及び報酬の(　)内は、減額措置を行う前の金額です。
2　退職手当の「1期の手当額」は、平成19年4月1日現在の給料月額(減額前)及び支給率に基づき、1期(4年＝48月)勤めた場合における退職手当の見込額です。
3　退職手当は議長、副議長、議員には支給されません。

職員の手当の状況

期末手当・勤勉手当

民間におけるボーナスに相当する手当です。

和歌山県	国
1人当たり平均支給額(平成18年度)1,939 千円	―
(平成18年度支給割合) 期末手当　3.0月分　勤勉手当　1.45月分 (1.6)月分　(0.75)月分	同じ
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算　5～20%　・管理職加算　10～20%	

(注)(　)内は、再任用職員に係る支給割合です。

退職手当(平成19年4月1日現在)

和歌山県			国
退職手当の基本額	(支給率)	自己都合　勧奨・定年	同じ
	勤続20年	23.50月分　30.55月分	
	勤続25年	33.50月分　41.34月分	
	勤続35年	47.50月分　59.28月分	
	最高限度額	59.28月分　59.28月分	
その他の加算措置 ・定年前早期退職特例措置(2～20%)			
退職手当の調整額 ・在職した職務の級に応じた定額の60月分			
1人当たり平均支給額　729千円　27,259千円 (自己都合)　(勧奨・定年)			―

(注)1　退職手当の額は、退職手当の基本額(退職時の給料月額×支給率)に退職手当の調整額を加えて得た額。
2　退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した全職種に係る職員に支給された平均額です。

地域手当(平成19年4月1日現在)

民間賃金、物価等が高い地域に勤務する職員や採用困難な医師・歯科医師に対して支給される手当です。

支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
東京都特別区	14%	28人	14%
大阪市	12%	6人	12%
和歌山市	3%	6,689人	3%
橋本市	2%	913人	2%
和歌山市及び橋本市以外の県内	1 %	8,638人	0%
医師・歯科医師	12%	29人	12%
支給実績(平成18年度決算)			1,810,213千円
支給職員1人当たり平均支給年額(平成18年度決算)			109,134円

特殊勤務手当(平成19年4月1日現在)

著しく危険、不快、不健康又は困難な勤務等に従事した実績に応じて支給される手当です。

手当の種類(手当数)	43
支給実績(平成18年度決算)	549,745千円
支給職員1人当たり平均支給年額(平成18年度決算)	59,990円
職員全体に占める手当支給職員の割合(平成18年度)	51.6%

時間外勤務手当

支給実績(平成18年度決算)	2,227,170千円
支給職員1人当たり平均支給年額(平成18年度決算)	314千円
支給実績(平成17年度決算)	2,789,416千円
支給職員1人当たり平均支給年額(平成17年度決算)	337千円

県職員の給与等の現状及び人事行政の運営状況はホームページでご覧になれます。
http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010200/data/index.html

おしらせ

各振興局代表電話
海　草…県庁代表と同じ
那　賀…☎0736-63-0100
伊　都…☎0736-34-1700
有　田…☎0737-63-4111
日　高…☎0738-22-3111
西牟婁…☎0739-22-1200
東牟婁…☎0735-22-8551

和歌山県のホームページは
http://www.pref.wakayama.lg.jp/
県庁・県教育委員会への
郵便は〒640-8585（県庁専用郵便番号、住所の記載は不要です）○○○課あて
電話は**☎073-432-4111**（代表）

時…期日・時間　**場**…場所・会場　**定**…定員　**対**…対象・資格　**費**…費用　**申**…申込・応募方法　**問**…問い合わせ
抽…希望者多数の場合抽選　HP…県ホームページでも掲載　✉…Eメール　＊は県庁の敷地内にはありません

募　集

習う・学ぶ・体験する

「紀の国ふれあいバス」参加者

県の施設や現場などへバスで見学
申・定・費 ハガキ・FAXで参加者全員（1枚に4人まで。重複申込不可）の住所、氏名、年齢、電話番号、希望コースを10月19日までに申込　HP
各40人　抽　1,300～2,600円

A1コース　11月6日(火)9:00出発
JR和歌山駅(東口)→高野山森林公園(宝来切り絵体験)→高野町内散策→青洲の里

A2コース　11月29日(木)9:30出発
JR和歌山駅(東口)→養鶏研究所→シイタケ収穫体験→果樹試験場

Bコース　11月16日(金)9:30出発
海南市役所前→かき・もも研究所→柿狩り体験→めっけもん広場

Cコース　11月21日(水)8:45出発
那賀総合庁舎前→椿山ダム→日高港新エネルギーパーク→御坊発電所
申・問 A1～Cコースは県庁広報室
FAX073-423-9500

Dコース　11月30日(金)9:30出発
伊都総合庁舎前→農業試験場→緑花センター(寄せ植え体験)→伊都浄化センター
申・問 伊都振興局総務室
〒648-8541橋本市市脇4-5-8
FAX0736-33-4916

Eコース　11月8日(木)8:30出発
有田総合庁舎前→護摩壇山森林公園→高野町内散策
申・問 有田振興局総務室
〒643-0004湯浅町湯浅2355-1
FAX0737-64-1256

Fコース　11月21日(水)9:30出発
日高総合庁舎前→紀州漆器伝統産業会館(漆器時絵(まきえ)体験)→稲むらの火の館→果樹試験場
申・問 日高振興局総務室
〒644-0011御坊市湯川町財部651
FAX0738-24-2906

Gコース　11月21日(水)9:00出発
JR紀伊田辺駅(弁慶像前)→湯浅町内散策→県立博物館(世界遺産登録記念特別展)
申・問 西牟婁振興局総務室
〒646-8580田辺市朝日ヶ丘23-1
FAX0739-26-7962

Hコース　11月14日(水)8:00出発
串本建設部前→東牟婁総合庁舎前→世界遺産センター→熊野古道(中辺路)ウォーク→南方熊楠記念館
申・問 東牟婁振興局総務室
〒647-8551新宮市緑ヶ丘2-4-8
FAX0735-21-9636

青少年の家

紀北青少年の家
〒649-7112 かつらぎ町中飯降1317-3
☎0736-22-5530　FAX0736-22-5531
http://www.cypress.ne.jp/wasei1/

ハロウィンパーティー
仮装、飾り付け、ゲームで親睦
時 10月20日(土)～21日(日)(1泊2日)
対・定・費 小学4年生～中学3年生　40人　抽　3,000円
申 10月13日まで

ヒマラヤの湯で癒し！
時 ①10月30日(火)、②11月13日(火)
対・定・費 一般　各50人　抽　1,000円
申 ①は10月23日、②は11月6日まで

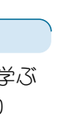
手作りマフラーでポカポカ(編物)
時 11月10日(土)～11日(日)(1泊2日)
対・定・費 小学4年生～中学3年生　40人　抽　3,000円
申 11月1日まで

白崎青少年の家
〒649-1123 由良町大引961-1
☎0738-65-2351　FAX0738-65-2352
http://www.zb.ztv.ne.jp/shirasaki/

白崎ネイチャークラブ・秋
～野外炊飯、焼きいも作りなど～
時 11月17日(土)～18日(日)(1泊2日)
対・定・費 一般(小学3年生以下は保護者同伴)　40人(先着順)　2,730～3,650円
申 11月3日まで

潮岬青少年の家
〒649-3502 串本町潮岬669
☎0735-62-6045　FAX0735-62-0182
http://www.naxnet.or.jp/~wasei3/

キャンドルアート
オリジナルろうそくを作る



時 ①11月17日(土)～18日(日)、②11月23日(祝)～24日(土)
①②とも1泊2日
対・定・費 小学4～6年生　各50人(先着順)　3,500円
申 ①は11月3日、②は11月9日まで

ハガキ・FAXで申し込む場合
参加者全員の住所、氏名、年齢(学年)、電話番号、保護者名、希望講座名を記入(電話での申込も可)
※詳細は各会場へ問い合わせ

“わかやま”もの知り博士になろう！

土器や化石に触れながら、歴史や人物など全国に誇れるものを紹介
時 11月10日(土)13:30～15:00
場 和歌山ビッグ愛(和歌山市)
対・定 小学3～6年生(家族同伴可)　60人(先着順)
申・問 電話、FAX、Eメールで、氏名、学校名、学年、人数、電話番号を11月7日までに県庁ＮＰＯ協働推進課
FAX073-433-1771
✉ e0324001@pref.wakayama.lg.jp

よさこい踊り体験

練習の仕方・チームの運営も学ぶ
時 10月20日(土)13:30～15:00
場 和歌山ビッグ愛(和歌山市)
定 20人　抽
申・問 ハガキ、電話、FAXで住所、氏名、年齢、電話番号を10月15日までに県青少年育成協会〒640-8319和歌山市手平2-1-2　和歌山ビッグ愛8階
☎073-435-5236　FAX073-435-5238

県男女共生社会推進センター“りぃぶる”

移動りぃぶるチャレンジカフェin那賀＆伊都
女性の再就職・起業・仕事と家庭の両立など専門家によるアドバイス、情報提供
時・場 ①10月18日(木)那賀振興局(岩出市)②11月15日(木)伊都振興局(橋本市)※いずれも14:00～16:00
対・定 女性　各4人(先着順)
申 電話で氏名、電話番号、コンサルティングを希望するテーマを①は10月17日まで、②は11月14日までに会場
問 りぃぶる☎073-435-5245

りぃぶるシアター
～映画を観て話そう男女共生～
③「みすゞ」④「カーラの結婚宣言」上映
時・場 ③10月26日(金)りぃぶる
④11月15日(木)　伊都振興局
※いずれも13:30～16:30
対・定 高校生以上　各30人(先着順)
申・問 ハガキ、電話、FAXで住所、氏名、電話番号を会場　※一時保育事前申込必要

男女共同参画相談員養成講座(入門編)
時 11月30日、12月7・14・21日、1月11・18・25日、2月1日 いずれも金曜　計8回13:00～15:00
場・対・定 りぃぶる 女性 20人(選考)

“りぃぶるフェスタ2007”－11月18日(日)－に参加してみませんか
⑤製本体験教室　10:00～
対・定・費 小学生以上(小・中学生は保護者同伴)12人(先着順)1,553円
⑥ハワイアンフラダンス　11:00～
定 20人(先着順)
⑦木工(小ぶりのイス作り)**体験教室** 13:30～
対・定・費 18歳以上16人(先着順)1,853円
⑧講演会 阿木燿子氏(作詞家) 14:00～
定 300人(先着順　整理券発行)
場 ⑤⑥⑦はビッグ愛9階りぃぶる、⑧はビッグ愛1階大ホール※要約筆記、手話通訳の必要な方は事前に申し出てください

※養成講座、フェスタ共通
申・問 電話、FAX、Eメールで、住所、氏名、年齢、電話番号、一時保育あり(要事前予約)。養成講座については受講動機(800字程度)を10月31日までにりぃぶる
☎073-435-5245 FAX073-435-5247
✉ e0315012@pref.wakayama.lg.jp　HP

無料体験会　トランポリン教室

時 11月11・18日、12月9・16日 いずれも日曜　計4回
小学生の部＝13:30～15:00、中学生以上の部＝15:30～17:00
場 県立橋本体育館(橋本市)
対・定 小学生以上全4回参加できる方　各15人(先着順)
申 ハガキ、電話、FAXで10月26日までに会場〒648-0061橋本市北馬場455　FAX0736-32-9650
http://www3.cypress.ne.jp/hp10703248/hasitai/hasitai-topA.htm
問 会場 ☎0736-32-9660

講座・講演等

NPO講座

①団塊世代むけウォーキング教室
時 10月18日(木)14:00～16:00
対・定 50～70歳の方 20人(先着順)
②NPO法人になるには？(基礎講座)
時 10月26日(金)19:00～20:30
対・定 NPO法人設立を考えている団体・個人 15人(先着順)

※①②共通
場 県NPOサポートセンター(和歌山市)
申・問 郵便、電話、FAX、Eメールで、住所、氏名、年齢、電話番号を①は10月15日、②は10月25日までに会場〒640-8319和歌山市手平2-1-2和歌山ビッグ愛6階
☎073-435-5424 FAX073-435-5425
✉ info@wakayama-npo.jp

アスベスト飛散防止建築技術講習会

時・場 10月23日(火)那賀振興局(岩出市)、10月24日(水)県立情報交流センターBig・U(田辺市)　※いずれも13:30～16:00
定 各100人(先着順)
申・問 ハガキ、FAXで住所、氏名、電話番号、希望日を県庁都市政策課FAX073-441-3232

県立医大保健看護学部公開講座

現代に生きる高齢者たち～古代ギリシャから現代の虐待問題まで～
時・場 10月27日(土)＝県立医大保健看護学部(和歌山市)
11月17日(土)＝県立情報交流センターBig・U(田辺市)※いずれも13:30～16:00
申 ハガキ、FAXで住所、氏名、電話番号、受講希望会場を県立医大保健看護学部〒641-0011和歌山市三葛580　FAX073-446-6720
問 申込先 ☎073-446-6700

こころの健康講座

講演「働く世代のこころの健康づくり」
講師 関西労災病院心療内科・精神科医師　梅田幹人氏
時 10月29日(月)14:00～16:00
場 和歌山ビッグ愛(和歌山市)
定 100人(先着順)
申・問 電話、FAXで住所、氏名、電話番号、人数を＊県精神保健福祉センター
☎073-435-5194 FAX073-435-5193

金融経済講演会

金子勝氏による「年金と定年後の人生設計」
時 11月17日(土)14:00～15:30
場 和歌山地域地場産業振興センター(和歌山市)
定 300人(先着順)
申・問 ハガキ、FAXで住所、氏名、電話番号を県庁県民生活課
FAX073-433-1771

阪和自動車道で料金割引30%OFFの社会実験実施中！
ETC車限定　平日15:00～17:00
貝塚IC～吉備IC間、泉佐野JCT～りんくうJCT間での利用のみ割引
詳細は、県庁道路政策課、市町村役場、道の駅に設置しているリーフレット又は、NEXCO西日本ホームページ http://www.w- nexco.co.jp/ 等
問 近畿地方整備局　道路計画第二課
☎06-6942-1141

守ろうオゾン層　防ごう地球温暖化
－平成19年10月1日
改正フロン回収・破壊法施行－
問 県庁環境管理課

ごあんない

創立100周年記念 ふれあいデー2007in農業試験場
施設見学、農産物即売、講演会
時 11月10日(土)10:00～15:00
場 農業試験場(紀の川市)
問 会場 ☎0736-64-2300 HP

最新の医療カンファランス(講演)
「神経内科医がめざすパーキンソン病の治療」「認知症の診断と治療」
時 11月8日(木)15:00～17:00
場 県立医科大学生涯研修・地域医療支援センター(和歌山市)
問 会場 ☎073-441-0789

和大祭における無料法律相談会
法律・不動産・会社登記等の相談
時 11月10日(土)10:00～18:00
場 和歌山大学(和歌山市)
問 *県司法書士会 ☎073-422-0568

わかやま技能フェスティバル
技能士等による実演、作品展示・即売、各種技能体験など
時 11月10日(土)11:00～17:00、11日(日)9:00～17:00
場 雇用・能力開発機構和歌山センター(和歌山市)
問 実行委員会 ☎073-425-4555

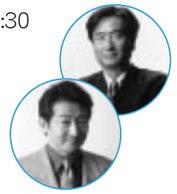
イノシシの狩猟期間の延長
11月15日から2月15日までは狩猟期間になっていますが、農作物等への被害が大きいことから、イノシシに限り、狩猟期間を11月1日から3月15日まで延長します。
狩猟者は、ルールやマナーを守り、一般の方に迷惑をかけないよう安全な狩猟を心がけてください
問 県庁自然環境室、振興局衛生環境課

行政書士試験願書配布誤りについて
平成19年度行政書士試験の願書について、8月13～16日の間、那賀振興局総務室において誤って昨年度(平成18年度)の願書を配布しました。この間、当該振興局で願書を受領し申込みをされた方は県庁市町村課までご連絡いただきますようお願いします

ミカンとふれあいデー
施設見学、作り方相談、試食(30人限定)
時 毎月5日(翌年3月まで、但し1月は10日)
場 果樹試験場(有田川町)
問 会場 ☎0737-52-4320 HP

子どもの人権を考える集い
教育評論家尾木直樹氏の講演会等
時 10月30日(火)13:30～16:10
場 和歌山市民会館(和歌山市)
問 県庁子ども未来課

三枝成彰・辰巳琢郎の宝くじおしゃべり音楽館
宝くじの収益による文化事業
時 11月25日(日)14:30
場 和歌山市民会館
費 前売り2,500円
(当日3,000円)
高校生以下1,500円
(当日2,000円)
問 会場 ☎073-432-1212



一日合同行政相談所
時・場 ①10月16日(火)JR和歌山駅前わかちか広場
②10月19日(金)田辺市民総合センター
③10月26日(金)橋本市教育文化会館
※①10:30～16:00 一日所長　神坂次郎氏
②③13:00～16:00 弁護士相談あり
(②の弁護士相談のみ事前予約必要)
問 和歌山行政評価事務所
☎073-431-8221

第20回和歌山矯正展
刑務所作業製品の展示即売、野菜販売等
時 10月13日(土)10:00～16:00、14日(日)10:00～15:00
場 和歌山刑務所(和歌山市)
問 会場 ☎073-471-2351

カネミ油症に係る検診
時 11月9日(金)、12日(月)、19日(月)
場 大阪府立急性期・総合医療センター(大阪市)
申・問 10月19日までに県庁生活衛生課

試験

県資格免許職職員採用
臨床心理士、精神保健相談員
時 11月25日(日) 10:00～
場 県民文化会館(和歌山市)
対・定 昭和43年4月2日以降生まれで資格を有する方　各1人程度
申込書配布 県人事委員会事務局、振興局等
申 10月15日～11月5日に県庁福祉保健総務課
問 申込先 HP

県情報処理員採用
時 11月11日(日)
場 県民文化会館(和歌山市)
対・定 昭和43年4月2日から昭和61年4月1日生まれでシステム開発等の実務経験を有する方　2人程度
申込書配布 県人事委員会事務局、県庁情報システム課、県パスポートセンター、振興局等
申 郵送で10月9日～26日に県庁情報システム課
問 申込先 HP

県農業大学校(専修学校)
時 推薦＝11月30日(金)9:00～
一般＝平成20年1月10日(木)9:00～
場 県農業大学校(かつらぎ町)
対・定 県内在住で30歳以下の高校卒業(見込)者　40人
申 推薦＝11月8～22日　一般＝12月14～26日に会場
問 県農業大学校 ☎0736-22-2203 HP

毒物劇物取扱者(一般、農業用品目、特定品目)
時 2月3日(日) 13:30～15:30
場 県民文化会館(和歌山市)、紀南文化会館(田辺市)
申込書配布 住所地を管轄する保健所、県庁薬務課
申・問 11月22日～12月5日に住所地を管轄する保健所、和歌山市在住者は県庁薬務課

クリーニング師
時 11月16日(金) 10:20～
場 県民文化会館(和歌山市)
願書配布 住所地を管轄する保健所、県庁生活衛生課
申 10月16～23日に住所地を管轄する保健所(支所)
問 願書配布先 HP

編集部からのお詫び　県民の友８月号の今月号のひとこま「白良浜　いま、むかし」で、４行目の文章中、「当時は、駅に電車が着けば、…」としていますが、「列車」の掲載誤りでした。訂正しお詫びいたします。

募集

その他

「紀州・山の日」フォトコンテスト
テーマ 山村の景観・人・文化などの風景
規格 カラープリント四つ切り(デジタル写真はＡ４カラー光沢紙)
※県内で撮影した未発表の作品に限る
申・問 作品裏面に応募票を貼付し11月30日までに県庁山村振興課

「瀬戸内海環境保全月間」ポスター
テーマ 瀬戸内海のイメージや環境保全の大切さ
規格 四つ切り画用紙縦長
対 小学生以下の部、中学生以上の部
申 作品裏面に住所、氏名、年齢、学校名、学年を記入し、11月30日までに瀬戸内海環境保全協会事務局〒651-0073神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1
問 県庁環境管理課

自立支援給付金
母子家庭の母の資格取得や雇用促進のための給付金を支給(事前相談必要、所得等条件あり)
母子家庭の母対象
・自立支援教育訓練給付＝給付対象講座の受講費用の2割(上限10万円)
・高等技能訓練促進費給付＝看護学校等での修業期間の最後の3分の1(上限12カ月)について月額10万3千円以内

母子家庭の母を雇用している事業主対象
・常用雇用転換奨励金＝非常勤等で雇用している母子家庭の母を常勤雇用に転換した場合母子家庭の母1人あたり30万円
申・問 振興局保健福祉課（市在住の方は、市役所福祉担当課）

南紀白浜空港 小型飛行機駐機場長期利用者
時 12月1日～平成20年3月31日(連続4カ月以内)
対・定 小型飛行機(全幅12m×全長10mまで)の野外駐機場長期利用を希望される方　2機 抽
申 持参、郵送で所定の申込書を10月15日～11月10日に南紀白浜空港管理事務所〒649-2211白浜町2926
問 申込先 ☎0739-42-2348 HP

県営住宅入居者
申込用紙配布日時 11月1～12日 9:00～17:00(土・日・祝日除く) HP
配布場所 *県住宅供給公社、県庁住宅環境課、振興局建設部(海草を除く)、所在市町村役場等

県住宅供給公社管内
問 ☎073-425-6885
【和歌山市】 西脇グリーン(一般・肢体障害者向・視覚障害者向)・城北・和歌山東・三葛・西浜 各1戸／楠見・紀伊・延時　各2戸／東松江3戸／千旦1～9号棟4戸／栄谷5戸
【海南市】 海南あっそ1戸
【岩出市】 鴨沼1戸
【紀の川市】 長山2戸

有田振興局建設部管内
問 事業調整課 ☎0737-64-1299
【有田市】 糸我・宮原 各1戸

日高振興局建設部管内
問 事業調整課　☎0738-24-2908
【御坊市】 下富安1戸

西牟婁振興局建設部管内
問 建築課　☎0739-26-7922
【田辺市】 新万・鮎川第二・栗栖川 各1戸／内ノ浦3戸

東牟婁振興局串本建設部管内
問 事業調整課　☎0735-62-0755
【串本町】 出雲1戸

東牟婁振興局新宮建設部管内
問 事業調整課　☎0735-21-9652
【新宮市】 佐野1戸／丸山2戸

10月は…

里親を求める運動推進月間
里親として子どもを預かりたい、内容を知りたいという方はお問い合わせください
問 子ども・障害者相談センター
☎073-445-5312、紀南児童相談所
☎0739-22-1588、紀南児童相談所新宮分室☎0735-21- 9634

高年齢者雇用支援月間
～高年齢者雇用促進のつどい～
時 10月18日(木)13:30～16:00
場 ホテルグランヴィア和歌山(和歌山市)
問 *県雇用開発協会☎073-425-2770

労働保険適用促進月間
労働者を1人でも雇っている会社は労働保険に加入しなければなりません
問 最寄りの労働基準監督署・ハローワーク

目の愛護デー(10月10日)
目の大切さについて考えてみませんか？
視覚障害に悩む人が角膜移植を受けて視力が回復するよう献眼登録の協力を
問 *県角膜・腎臓移植推進協会
☎073-424-7130

臓器移植普及推進月間
～あなたの善意で助かる命があります～
意思表示カード・シールは市町村役場、保健所等で
問 県庁健康対策課

麻薬・覚せい剤乱用防止運動(10/1～11/30)
麻薬・覚せい剤等薬物の乱用をなくそう！
問 県庁薬務課

赤い羽根共同募金運動(10/1～12/31)
地域福祉の推進のためご理解とご協力を
問 *県共同募金会 ☎073-435-5231

10月1日は浄化槽の日
定期的な保守点検や年１回の清掃については必ず実施しなければなりません。また、県指定検査機関による法定検査も年1回必ず受けてください
問 県庁生活排水課

環境にやさしい買い物キャンペーン
買い物袋を持参するなど日常の「買い物」を通じて環境を考えてみましょう
問 県庁環境生活総務課 HP

土地月間 ～地籍調査にご協力を～
土地トラブルの未然防止に役立ちます
問 市町村役場

全国不正軽油撲滅強化月間
全国一斉の抜取調査実施中
ご協力をお願いします
不正軽油110番 0120-258-174（ゼイフタン フコウヘイナシ）
問 県庁税務課 HP

催　し

●印の各館は65歳以上、障害者、高校生以下、外国人留学生等は入場料無料　■は展示
◇印の各館は65歳以上、障害者は入場料無料　■はイベント

●県立近代美術館　☎073-436-8690
休館／月曜(祝日の場合次の平日)

■「森のなかで」展　10月20日～12月9日
■コレクション展2007－秋　10月2日～12月2日

●県立博物館　☎073-436-8670
休館／月曜(祝日の場合次の平日)

■世界遺産登録記念特別展「熊野本宮大社と熊野古道」　10月6日～11月25日

●県立紀伊風土記の丘　☎073-471-6123
休館／月曜(祝日の場合次の平日)

■特別展「祈りの民具と郷土玩具(がん)」　～12月24日
■特別展解説「"遊び"の世界－郷土玩具に託された想い－」
10月27日(土)　申 10月16日まで　定 30人　抽
■古代人の米作り(脱穀・炊飯)10月28日(日)
申 10月16日まで　対・定 小学生 40人　抽
■木の実あそび 11月10日(土)
申 10月30日まで　対・定 小学生以上10組　抽
■作って楽しもう！－竹とんぼ－11月17日(土)
申 11月6日まで　対・定 小学3～6年生 50人　抽
■特別講演会「城下町の不思議空間－妖怪の民俗地理学－」
11月24日(土)　申 11月13日まで　定 30人　抽

●県立自然博物館　☎073-483-1777
休館／月曜(祝日の場合次の平日)

■講演会「トビハゼの話」11月3日(祝)
申 10月20日まで　対・定 小学5年生以上 60人　抽

◇片男波公園万葉館　☎073-446-5553
■「第1回万葉バスツアー」10月27日(土)
申 10月15日から先着順　対・定 一般 40人　費 4,000円

◇県植物公園緑花センター　☎0736-62-4029
休園／火曜(祝日の場合次の平日)

■秋の盆栽展10/19～21、心を癒(いや)す山野草生け花展10/20～21、生け花展10/27～29、古典植物展10/27～28、野生らん・寒らん早咲き展11/3～4、秋の山草展11/10～11
■薬草の知識と利用　10月21日(日)事前申込必要
■どんぐり教室　中級編　10月28日(日)　〃
■どんぐり教室　初級編　11月3日(祝)　〃
■秋を楽しむネイチャーゲーム　11月4日(日)　〃
■草木染め教室　11月11日(日)　〃

県動物愛護センター　☎073-489-6500
入場無料 休館／火曜

■いぬ・ねこ譲渡講習会
10月28日(日)、11月7日(水)、11日(日)　11:00～
※申込不要、講習を受けなければ譲渡できません

県公館　一般公開　☎073-441-2213
問 県庁管財課　入場無料　茶室、庭園などがあります
時 10月28日(日)、11月11日(日)いずれも10:00～16:00
※駐車場はありません。バス停「不老橋」下車徒歩1分

南紀白浜空港～東京(羽田)便を利用しよう！

10月 運航スケジュール（出発時刻）

白浜→羽田	10:55、15:10、19:20
羽田→白浜	9:05、13:15、17:25

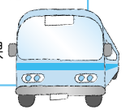
※南紀白浜空港の駐車場は無料

「特便割引7(セブン)」正式導入！
片道・大人普通運賃26,600円→
17,500円に割引（9,100円もお得）
※搭乗日の2カ月前から7日前(1週間前の同曜日)までに予約必要

搭乗券半券1枚につき1,000円分の地域商品券をプレゼント！
※県民の方が対象。平成20年3月末まで
※宿泊付航空券及び特便割引7より安価な割引券は対象外
※御坊市以南の該当市町村役場で交付
問 県庁振興課、
県観光連盟 ☎073-441-2775

環境にやさしい公共交通機関の利用を

環境にやさしく、誰もが気軽に利用できる鉄道やバスは、みなさんの利用によって成り立っています。私たちの鉄道やバスを維持するためにも積極的に利用しましょう
問 県庁総合交通政策課



読者のお便り
㊐ 紀の国ふれあいバスで、紀伊風土記の丘の火おこし体験を行いました。難しかったけれど、子どもも大人もとても楽しめました。国内でも貴重な古墳群であることやまたその多さに驚きました。　20歳代女性(紀の川市)

お気軽にどうぞ

交通事故相談　☎073-441-2359
【常設相談】 月～金曜日
場所／県庁交通事故相談所、東牟婁振興局(水曜日を除く☎0735-22-8551)
【弁護士による相談】
※電話予約必要　先着各4人
●県庁交通事故相談所 11月14日(水)
相談／14:00～16:00
●東牟婁振興局 11月9日(金)
相談／13:00～15:00

高齢者相談　☎073-435-5212
【常設相談】 月～金曜日
【専門相談】 ※日時はお問い合せください
【弁護士による相談】 10月26日(金)、11月9日(金) ※電話予約必要
場所／県高齢者総合相談センター(和歌山ビッグ愛7階)※無料職業紹介もあり

人権相談　☎073-421-7830
【常設相談】 月～金曜日
【弁護士による相談】10月25日(木)、11月8日(木)※電話予約必要
☎073-435-5420
場所／県人権啓発センター(和歌山ビッグ愛2階)※県庁人権局、振興局でも相談をお受けします

県民相談　☎073-441-2356
【常設相談】 月～金曜日
場所／県庁県民相談室
【弁護士による相談】 県庁県民相談室
※電話予約必要 先着各20人 受付9:00～
10月23日(火)〈予約10/16～〉
11月6日(火) 〈予約10/24～〉
11月16日(金) 〈予約11/7～〉
【移動相談】 ※電話予約必要　先着各10人
11月8日(木)那賀振興局
〈予約10/26～ 那賀振興局0736-61-0006〉
11月20日(火) 串本町文化センター
〈予約11/7～ 東牟婁振興局0735-21-9607〉
【消費生活相談】
●消費生活センター
(日～金曜日) ☎073-433-1551
(日曜日10:00～16:00電話のみ)
●消費生活センター紀南支所
(月～金曜日) ☎0739-24-0999

福祉サービス相談　☎073-435-5527
福祉サービスに関する問題を解決します
【常設相談】月～金曜日
場所／県運営適正化委員会(和歌山ビッグ愛7階 県社会福祉協議会内)
FAX073-435-5584

医療安全相談　☎073-441-2611
【常設相談】 月～金曜日
場所／県庁医務課　※県立保健所(支所)総務課でも実施しています
【弁護士による相談】※事前予約必要
10月24日(水)、11月14日(水)
13:00～17:00　場所／県庁医務課

労働相談　☎073-436-0735
【常設相談】月～土曜日
月・火・木・金曜日 10:00～16:00
水曜日　16:00～20:00
土曜日　10:00～14:00
場所／労働情報センター
(和歌山市北出島1-5-46)
【労働委員会の委員による相談】
10月17日(水)※電話予約必要
先着3人 ☎073-441-3781
場所／県庁労働委員会委員会室

警察相談　☎#9110
犯罪被害や県民の安全等に関する相談
相談日 毎日24時間
ダイヤル回線の場合
☎073-432-0110

人権連載 こころの気づき

あの笑顔と生きる　～犯罪被害者の手記集より～

「おおっ！おやじ帰ってきてやったぞ！」息子が月に一度京都から帰ってきたときの決まり文句に、主人は「帰ってきてくれって頼んでないぞ！」とやり返す。そんな息子にビールを冷やしたり、忙しそうにしている顔はうれしそうでした。私は二人のやり取りを聞き、どこにでもあるような日常が当たり前で、ずっと続くと信じていました。まさか1か月後に息子が事件で亡くなるとは…

「俺、三十になったらペットショップ開くねん、今、その資金一生懸命貯めているんやでぇ」動物が好きで自分のお店を持つのが夢だったのに、輸入雑貨を始め共同経営をしていた相手に命を奪われて、その夢を果たせないまま逝ってしまいました。秋のお彼岸も過ぎて十月もあと少しで終わろうとしていたとき、事件の心労が重なり急性心不全で主人までもが亡くなり、帰らぬ人となってしまいました。

成人した息子の将来を楽しみに、主人とのんびりした人生をおくろうとしていた私の夢も奪われてしまったことと、何より息子が相手を信じていたことを思うと、怒り憎しみ悔しさが込み上げ加害者を一生ゆるすことはできません。犯した罪の反省と更正の意味においては罪の償いをなにかの『かたち』で見せてもらいたいと思っています。（紙面の都合により一部省略しています）

犯罪被害者やその家族は、精神的な被害だけでなく、仕事の継続や日常生活が困難になり、経済的被害を受けることもあります。また、心ない報道や、無責任なうわさ話などの二次被害にも遭います。

このように傷ついた犯罪被害者等(被害者、家族、遺族)の様々な支援のため、平成17年に「犯罪被害者等基本法」が施行され、国・地方公共団体・国民や関係団体も含めた連携協力等が進められています。さらに、和歌山県では「安全・安心まちづくり条例」においても、警察、教育と連携しながら支援に取り組んでいます。毎年、県民の約100人に1人が犯罪被害に遭っていることを思えば、決して他人事ではありません。

犯罪被害者とその家族について、また事故防止や犯罪抑制について考えてみましょう。
問 県庁県民生活課

第3回和歌山犯罪被害者支援フォーラム
犯罪被害者本人による講演及び犯罪被害の識者によるパネルディスカッション等
時 11月5日(月)14:00～17:00
場 県民文化会館(和歌山市)小ホール
問 紀の国被害者支援センター
☎073-427-2100　HP

読者のお便り
㊐ こどもふるさと探検隊(夏休みのふれあいバス)で、果樹試験場や醤油資料館を見学しました。新しい品種のミカンを食べてみたいと思いました。また、しょうゆができるまでや歴史についての説明がよく分かりました。　小学生(和歌山市)

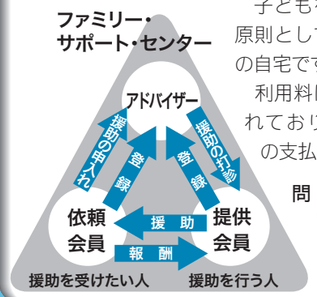
みんなの広場

県政Q&A

Q 「仕事が長引いて、子どもを迎えに行けない…」「用事があるけれど、子どもをつれて行きにくい」こんな時どうしたらよいでしょうか。

A 一時的にお子さんを預かってほしい方に子育て援助ができる方を紹介するファミリー・サポート・センターを活用してください。

和歌山市、海南市、橋本市、田辺市にあり、利用するにはあらかじめ会員登録が必要です。(居住要件など有)



子どもを預かる場所は、原則として援助を行う人の自宅です。

利用料は各市で決められており、当事者間での支払いとなります。

問 県庁労働企画課
☎073-441-2793

知っ得情報

「家族のふれあい優待制度」をご存知ですか。

子育て家庭を地域社会全体で応援するため、協賛店舗の協力により、優待券を提示することで、料金割引や各種特典などのサービスが受けられる制度を実施しています。

原則中学生以下の子育て家庭が対象で、店頭にシンボルマーク入りステッカーの掲示のある店舗が目印です。優待券付パンフレットは、下記問い合わせ先、振興局保健福祉課、市町村役場にあります。

※協賛店舗は、随時募集しています。

問 県庁子ども未来課・青少年課
県青少年育成協会
☎073-435-5236
FAX073-435-5238

協賛店舗や優待券、サービス内容等は、ホームページにも掲載しています。
http://www.cypress.ne.jp/wakatsu/fureai/index.html

県政ポスト お聴かせください！あなたのご意見

個人のプライバシーは保護されていますので、他に流用したり、公表したりすることはありません。
ただし、ご意見・ご提言の内容を匿名により、性別・お住いの地域名を記載して、県のホームページや広報紙「県民の友」などに掲載させていただくことがありますので、ご了承ください。

- 郵便(手紙、ハガキ)
〒640-8585(県庁専用郵便番号、県庁の住所記入不要)
県庁広報室「県政ポスト」係
- FAX073-441-2020　県庁広報室「県政ポスト」係
- Eメール(インターネット)
http://www.pref.wakayama.lg.jp/chiji/mail/

問 県庁広報室 ☎073-441-2034

『読者のお便り』募ります
編集部では、県民の友に関係すること、住んでいる町の自慢、普段の生活で気づいたこと、心温まるエピソードなど募集します。

郵便、ＦＡＸ、Ｅメール(e0002001@pref.wakayama.lg.jp)で、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し広報室「県民の友」係、
メールでは、タイトルに「県民の友」と入力のうえ、お寄せください。

ふるさと再発見！「太地町」散策

黒潮の恵みと、
造形美豊かなリアス式海岸、
４００年の歴史を誇る
古式捕鯨発祥の地である太地町。
太地町役場の美代取久典(みよどり)さんと
桝田将樹さんに案内してもらいました。

JR太地駅からバスで約5分 くじら館バス停下車

鯨の文化が息づき、恵みをもたらす美しい海が生活に密着したところです。県内最小の面積で通行く人も顔見知りが多く、気軽に声をかけあえる温かい地域性が自慢です。

今月号の ひとこま

つながる道、命の道

京奈和自動車道「橋本道路」の橋本東IC～橋本IC間（4.9㎞）が、開通しました。

これにより、奈良県の五條北IC～和歌山県の高野口IC間（19.2㎞）が全線開通となりました。この区間は、広域的な道路ネットワークの役割を果たすことはもちろん、並行する国道24号の交通混雑の緩和、交通事故の減少が期待されています。

京奈和自動車道は、延長約120㎞の高規格幹線道路で、近畿圏の外郭環状道路として機能するとともに、地域連携を強化する役割を担う路線です。和歌山県内は約40㎞が事業化されていて、今回開通した橋本道路（11.3㎞）と紀北東道路、それに紀北西道路と整備が進められています。

京奈和自動車道「橋本道路」（橋本ICから高野口方面をのぞむ）

近畿自動車道紀勢線「南紀田辺IC」（田辺バイパスをのぞむ）

一方、近畿自動車道紀勢線については、みなべIC～南紀田辺IC間（5.8㎞）が11月11日に開通する予定です。これに合わせて、今月末には開通イベントが予定されています。

また、那智勝浦道路の一部が今年度開通する予定です。

道路は、人と人との交流を活発にするだけでなく、防災面でも安心を支える命の道でもあることから、その整備に期待が寄せられています。

県政広報番組のお知らせ

テレビ テレビ和歌山(WTV)

きのくに21（県の施策や地域の話題を紹介）

日曜 9:30・(再)22:00

10月の主なメニュー(30分番組)

10月 7日	地球深部探査船「ちきゅう」
14日	知事と語る
21日	デンマークとの交流の歴史
28日	10月は県食育推進月間！

県民チャンネル

月・木・金曜日　20:55
火曜日　21:55
水曜日　19:55

ラジオ 和歌山放送(WBS)

県庁だより

毎日11:40・(再)18:00

こぼれ話

「あわい」を歩けば・・・。　（太地町）

今月号のふるさと再発見（14ページ）で紹介した太地町の役場周辺には、昔からの家並みが残っています。「あわい」と呼ばれる路地を歩くと、まず、日本家屋の外壁が淡い黄色や緑色、それに桃色に塗られていることに圧倒されます。あらためてそれらの家屋を眺めると、2階窓に取り付けられた格子にいろいろな意匠を凝らしているのが目に入ってきます。

家ごとにその意匠を競うかのように、鳥や船を模したものや幾何学模様など多種多様です。これも鯨にまつわる町ならではのものでしょうか。

皆さんもこの家並みを訪ねてみてはいかがでしょう。「あわい」を吹き抜けるさわやかな風を感じに。もちろん、マナーは忘れずに。

広告　県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報室 ☎073-441-2032

発行／和歌山県広報室
〒640-8585 和歌山市小松原通1－1　☎073-432-4111(代表)
http://www.pref.wakayama.lg.jp/

環境に優しい大豆油インクと古紙パルプ配合率100%再生紙を使用しています。